

○昨年度大会決定事項である事業の進行
 委員会は協同工場株式事業部の統一事業推進委員の組織を以て
 年内完成は失敗あるは完成せしむるが成果を見なかつたことよりこの組織委員の統一が
 するところである

○教育運動については努力の進歩の調査會及びニトスリ刊行機関紙を通じてこの水を行の各支部に於て
 る集會總會と十数回開催せり特に労働学校創立の議が委員會に可決されたるは講師の都合上開催
 不能なるが本年度この水が完成に努むることと誓約す

○人綱運動としては二硫化炭素の被害と科学的上専門家を以て研究しこの水が対象となり、在来の
 方針を捨てる新方針に依る開業を展開すべし決意を有す

○執行委員會は十月開催と組合行政事務を所理す
 出席延人員 百七十六名

常任委員會は廿四日開催の組合事務の遂行に於たる

労働部 報告

争議紛議合計 三十件
 参加人員 五三一名

本表外に小紛議十数件、フルモ省略す

本年度争議 犧牲者 止田豊造君 松本繁蔵に四月月徳役他人名四割

金各二千四百四十圓 (入金)

工場名	解決済否	原因	人員	主たる解決条件	形勢
白絹 伏見工場	八二一七	待遇改善	一五〇	食費、衛生改善獲得	交渉
富永 製作所	八七九七	病氣退社	一	手当百八十圓獲得	交渉
伏見 製糖工	八九七七	待遇改善	一三〇	要求貫徹 團體協約	争議